



学校だより  
ながや

令和4年度 8月号  
令和4年 8月29日  
横浜市立永谷小学校  
校長 平野 好子

## 夏休みを終えて

校長 平野 好子

夏休みを終え、子どもたちが久しぶりに登校し、友達と会話を交わしたり、教室で夏休みの思い出を伝え合ったりする姿が見られます。いよいよ、前期後半が始まりました。

今年の夏は、久しぶりに行動制限のない夏休みでした。子どもたちそして保護者・地域の皆様もそれぞれ感染予防を行いながら、この夏を過ごされたことと思います。

この夏も、テレビや新聞でさまざまな事件や事故が報道され、その度に、「なぜ、このようなことが起きてしまうのだろう。」と胸が締め付けられる思いを感じました。子どもたちの安心・安全を守るために、自分ができることについても考えさせられました。子どもたちにとって、学校が安全で安心できる場としたいと常日頃より強く思っています。そのために、できることの一つに環境整備があげられます。物理的にも、また、子どもたちが安心して話せる人との関係づくりも含めた心的環境も整えなければなりません。

困ったことや不安なことについて伝えることを我慢する必要はないこと、言葉にしてよいということ、人に話すことが大事なことだと伝え、理解させることは、今、子どもたちを取り巻く大人がしなければならないことだと感じています。そのために、自分の思いを素直に伝えることのできる人を探し、その人につないだり、安心して話せる人間関係をつくっていったりすることも必要不可欠です。

ただ、大人だけでは、環境を整えられません。周りにいる子どもたちにも、よい環境を作る側になってもらう必要があります。子どもたちは、学校生活も含め日々の生活の中で、不安に思う場面に数多く出会い、どうしたらよいか悩み、ときには逃げ出したいと思いつつも何とか課題を克服しようと葛藤します。『自分で考え、自らよりよい行為につなげようとしたこと』を自分の周りにいる人に認められ、価値づけされる経験を通して、価値あるもの（大事にしなければならないもの）を学び理解していきます。その子どもたち一人ひとりが、みんなが安心して話せる雰囲気をつくる人、そして、困っている人にそっと寄り添うことのできる人になってもらいたいと願っています。みんなで、安心・安全な生活をつくっていきたいと思います。

人とかわりながら日々の学びを積み重ね、その学びを実践の場に生かしていくことが、子どもたちの成長につながると感じています。「自ら学び 人とつながり 未来をつくる永谷の子」になってほしいと願い、日々の教育活動を大切にして取り組んでいきます。

まだまだ、暑い日が続きます。熱中症防止対策も取りながら、今後も子どもたちの安心・安全を守り、豊かな学びにつながる学校教育活動を進めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をお願いします。